

令和5年度事業報告

【 法人報告 】

1 法人の報告

理事会	3回実施	
	第1回理事会（事業報告・決算）	[令和5年 5月26日]
	第2回理事会（補正予算・会員区分変更）	[令和5年11月16日]
	第3回理事会（事業計画・予算）	[令和6年 3月29日]
会計監査	1回	[令和5年 5月10日]
定時総会	1回	[令和5年 5月26日]
役員会議（理事長・副理事長・常務理事・事務局長）		12回（毎月実施）
班長会議（常務理事・事務局長・各事業の担当課長及び主任）		12回（毎月実施）

【 相談支援事業 】

1 体制

(1) 開所日及び開所時間

月曜日～土曜日（祝祭日を除く） 9時30分～17時30分
但し、12月29日～1月3日の年末年始は休業

(2) 職員配置

相談支援専門員 4名（常勤）

(3) 相談形態

電話、面談、訪問・同行、メール等

2 事業概要

(1) 障害者相談支援業務に関すること（秦野市からの委託事業）

- ア) 福祉サービスの利用援助（情報提供・相談等）
- イ) 社会資源を活用するための支援（各種支援施策に係る助言・指導）
- ウ) 社会生活力を高めるための支援
- エ) 権利擁護のために必要な援助
- オ) 専門機関の紹介
- カ) その他必要な支援に関すること

(2) 基幹相談支援センター業務に関すること（秦野市からの委託事業）

- ア) 総合的・専門的な相談支援の実施に関すること
障害の種別や各種のニーズに対応できる総合的な相談支援や専門的な相談支援の実施

- イ) 地域の相談支援体制の強化に取り組むこと
 - ① 地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導、助言
 - ② 相談支援専門員の人材育成の支援
 - ・研修会の企画・運営
 - ・サービス等利用計画の点検・評価等
 - ③ 地域の相談機関との連携強化の取組
 - ・相談支援事業者、民生委員、高齢者、児童、保健・医療、教育・就労等に関する各種の相談機関等との連携に関する事
 - ・児童発達支援センターとの連携に関する事
 - ウ) 地域移行・地域定着の促進の取組むこと
 - ① 障害者支援施設や精神科病院等への地域移行に向けた普及啓発
 - ② 地域生活を支えるための体制整備に係るコーディネート
 - エ) 権利擁護・虐待の防止に関する事
 - オ) 秦野市障害者支援懇話会（総合部門・相談部門）の運営に関する事
 - カ) 秦野市権利保障実践チームの運営に関する事
 - キ) 緊急時の受入れ体制の整備に関する事
 - ク) 相談支援に関する各種情報の収集、集約、発信
 - ケ) その他必要と認めるもの
- (3) 指定特定相談支援、障害児相談支援、一般相談支援（地域移行支援・地域定着支援）
- ア) サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成、並びに、継続サービス利用支援、継続障害児利用援助に関する事
 - イ) 入院及び施設入所支援利用者に対する地域移行支援及び地域定着支援計画の作成、相談支援に関する事
- (4) 障害支援区分認定調査（秦野市からの委託事業）
- ア) 障害支援区分認定調査に関する事

3 総括

「ぱれっと・はだの」が開設して6年が過ぎ、相談支援事業所等連絡会、各種関係機関へのカンファレンス等への参加、関係団体との連携等、相談支援を通じて、多くの人と出会う機会がありました。市内に新規の相談支援事業所が4カ所開設されバックアップやフォローアップに取り組みました。

基幹相談支援センターでは、相談支援事業所等連絡会を通じ、相談支援の質の向上、相談支援専門員の人材育成を目指し、相談支援事業所が企画の段階から関わる体制としました。事例検討を通じて、利用者支援の視点、介護保険等の制度の活用、家族支援の必要性について学び、新たな知識を得る場となりました。また、福祉サービス事業所とのより深い連携を図るために、合同開催による事例検討を通じ、家族支援について検討しました。基幹相談支援センター研修会を2回開催しました。

「発達障害の特性理解と支援」をテーマに、かながわ A、当事者団体に講演頂きました。また、「これからの地域作りを語ろう」をテーマに、秦野市障害者支援懇話会の部門長による座談会を開催しました。

関係機関、教育機関等の連携により、児童から成人期への移行支援、事業所の廃止に伴う、利用者の他事業所への引継ぎ、セルフプランから計画相談への移行調整、自殺企図のあるひきこもりの方への行政、医療、福祉等の連携による支援、課題が多様化・複雑化している支援が難しい方や、手帳を取得していない方、要保護対策児童やその家族等の支援を行いました。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の協議の場を 2 回開催し、ピアサポーター、家族会、自治会、民生委員、医療、福祉が一同に会し、ワールドカフェによる秦野市の「住みやすい街づくり」について協議しました。

障害者相談支援（委託相談支援）については、社会生活力に関する相談が多く、福祉サービスの利用援助の数を超えています。地域生活を営むうえで生じる疑問、精神的不安、家族・人間関係に関する相談は、解消しきれない継続的な相談となり、電話や面接による傾聴や助言等を繰り返しています。福祉サービスを利用している、不安までは行かない、日常的なつながりを求めてくる電話相談も多くあり、課題が生じている相談者の自宅訪問、関係機関等への訪問によるアウトリーチによる対応、医療機関への受診同行等も対応しています。障害の有無は問わず、ワンストップの相談対応をし、適切な機関へ繋ぎました。匿名の方への相談についても対応しています。新規の相談は250件を超え、行政、関係機関、知人等からの紹介のほか、インターネットを検索して連絡をしてくる方、他県他市の方からの電話をいただく事もあります。

指定特定相談については、複数の事業所を利用したり、家族支援が必要であったり、医療機関との繋がりが必要であったり、他市でのサービスを受けている方が主です。計画相談の方の日常的、慢性的な相談、人に繋がりを求める電話等、サービスだけでは解消することのできないニーズに答えました。モニタリングについては、サービス提供の場で本人の利用状況を確認することを原則とし、市内外の事業所に訪問しています。毎月モニタリングが必要な人については、障害福祉課と相談しながら取り組んでいます。新規の相談支援事業所が開設され、安定したサービスが提供されている相談者については、事業所間での引継ぎをしました。

支援区分認定調査については、障害福祉課で年間に振り分けられた更新の方や、新規で障害支援区分が必要となる支援学校高等部の生徒や、初めて介護給付を受ける方の調査を行いました。

令和5年度については、多様化する相談ニーズに対して、これまで通り一つ一つ丁寧な対応を重ねてきました。個別の支援が幅広い関係機関との連携に繋がり、地域の相談機関との連携により地域生活の体制整備を図ることに繋がりました。

4 事業内容

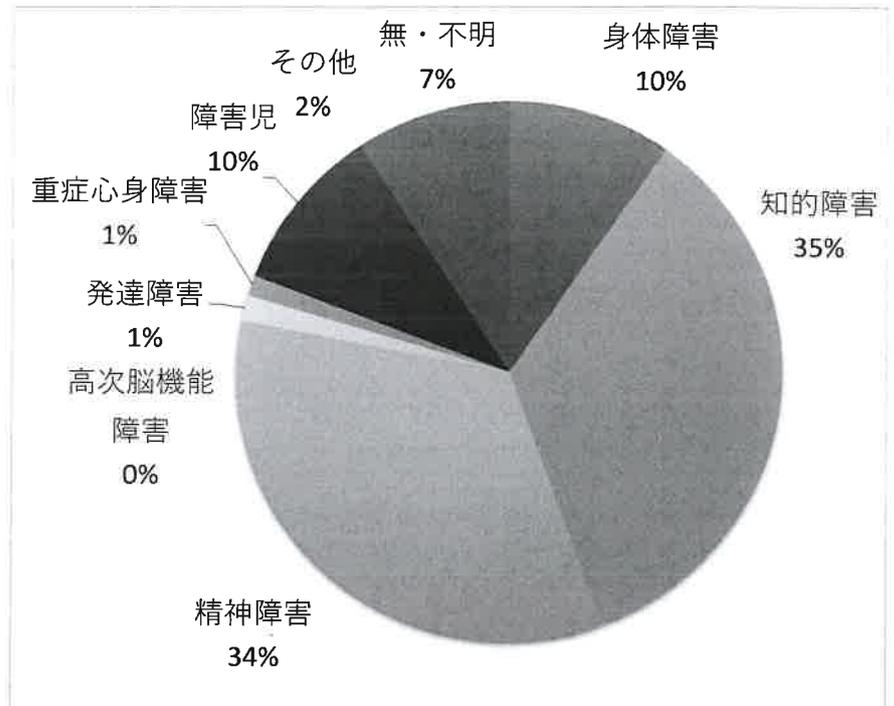
(1) 相談支援事業

ア) 相談支援を利用した障害者等

障害福祉なんでも相談室相談班で対応した障害児・者の方々です。その他は、障害者手帳や療育手帳を所持せず、自立支援医療証所有の方や難病の方です。

知的障害、精神障害の方が7割を占めています。障害児の親からの相談にも対応しました。

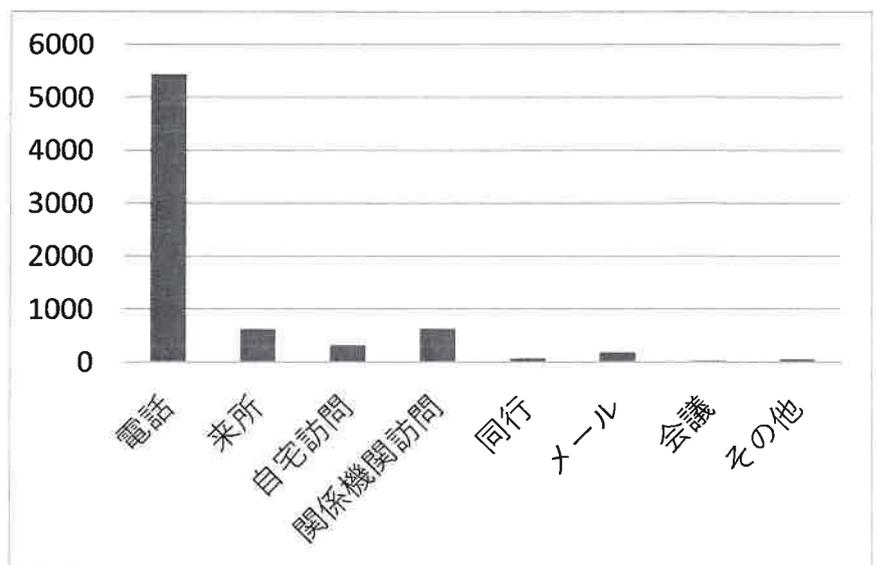
身体障害	39
知的障害	139
精神障害	135
発達障害	6
高次脳機能障害	1
重症心身障害	4
障害児	40
その他	7
無・不明	30
計	401



イ) 支援方法

電話の対応が多くを占めますが、自宅や関係機関への訪問等、地域での相談支援の機会を展開し、地域支援に努めました。

電話	5436
来所	622
自宅訪問	320
関係機関訪問	628
同行	70
メール	186
会議	27
その他	51
計	7340



(2) 障害者相談支援

ア) 相談内容

障害者相談支援は秦野市からの委託を受け、当事業所の指定特定相談（計画相談）で対応していない方々への相談支援です。障害福祉課、関係機関等からの紹介で新規で対応する方も多く、支援内容は多岐に渡りました。

【事由】

福祉サービスの利用	1167
社会資源の活用	113
社会生活力	1987
権利擁護	8
専門機関紹介	42
その他	469
計	3786

【詳細】

福祉サービスの利用	532
情報交換	753
日常生活	465
就労	43
住居	66
教育・発達	7
健康・医療	217
家族・人間関係	140
家計・金銭	114
精神的不安	789
ひきこもり	1
障害の理解・病状	21
療育・教育	12
社会参加・余暇活動	33
地域移行・地域定着	3
権利擁護・虐待	4
連絡調整	434
その他	152
計	3786

社会生活力については、日々の生活の中で生じる、人とのつながりを求める相談、精神的な不安の解消のための相談が多くを占めました。

福祉サービスの利用、社会資源の活用の相談であっても、家族関係や人間関係が要因であったり、健康面や精神的な不安等であったり、複雑な要因が絡んでいます。

尚、来年度からは複雑化する相談内容が明確に提示できるよう、詳細については複数カウントに変更する予定です。

イ) 事例

- ・ 精神障害と発達障害の方。疾病が発見され、入院し手術をする必要があるが、精神的な不安が強く、電話による相談が毎日続いた。
- ・ 一人暮らしの精神障害の方々。日常的に募る不安や、孤立感からつながりを求めて、相談電話で定期的に対応している。
- ・ 発達障害の児童。人間関係の構築が難しく、土曜日に定期的に親子面談を実施している。
- ・ 知的障害のある児童。外国籍で親は日本語が分からず、家に届く郵便物の内容が理解できない。
- ・ 病院からの退院。退院後の生活を整えるための相談。

(3) 基幹相談支援センター

ア) 相談内容

秦野市からの委託を受け、地域の相談支援事業所で対応が厳しい個別事例への対応や、相談支援従事者の人材育成等に関する取り組み、障害者支援懇話会総合部門、障害者支援懇話会相談部門の運営、高齢・医療・地域共生支援センター等の相談機関との連携等に取り組みました。

【事由】		【詳細】	
総合的・専門的な相談支援	625	困難事例	327
相談支援体制強化	170	専門機関紹介	17
地域移行・地域定着	8	事業所訪問	17
権利擁護・虐待防止	3	人材育成	18
支援懇話会の運営	19	研修会の企画・運営	47
緊急時の受入れ体制	3	事例検討会	6
各種情報収集・集約・発信	20	サービス等利用計画の点検・評価	1
その他	91	相談機関との連携強化	35
計	939	児童発達支援センターとの連携	1
		施設・病院等への地域移行	1
		体制整備のコーディネート	4
		権利擁護・虐待防止	5
		相談部門	5
		総合部門	8
		地域移行・地域定着	0
		連絡調整	149
		情報提供・情報収集	252
		その他	46
		計	939

専門機関の紹介では、事業所のセルフプラン利用者の計画相談への繋ぎ等に取り組みました。

事業所訪問では、新規で開設された相談支援事業所に訪問しバックアップに取り組みました。

「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の協議の場を開催しました。

イ) 困難事例

- ・ ひきこもりの自殺企図のある方。各種関係機関との連携により医療機関への繋ぎ。
- ・ 母親が他界。高齢の父親と家庭で生活している重度知的障害の方。在宅から施設入所へ支援。
- ・ 本人行方不明の親からの相談。
- ・ 家族への暴力により家庭崩壊した精神障害の方への対応。
- ・ 放課後等デイサービス事業所閉鎖に伴う複数の障害児へのつなぎの支援。
- ・ 旧医療少年院から退所する発達障害の方の支援。
- ・ 生活困窮で家庭崩壊の家族。子どもを授かった知的障害の方への支援。
- ・ 要保護児童対策協議会の個別ケース。
- ・ 高齢の母親と暮らす精神障害の方。
- ・ 近隣苦情、母親の入院等、高齢者支援センターとの連携による支援。

ウ) 会議等

1 湘南西部障害保健福祉圏域相談支援ネットワーク会議

回数	開催日	場所	内容
1	令和5年6月23日	大磯町立福祉センター さざれ石	1 湘南西部圏域自立支援協議会の今年度の予定について 2 市町協議会・部会の取組予定等について 3 相談支援体制整備について 4 各機関の課題等への取り組み状況について 5 その他、共有事項、多機関にたずねたい事項
2	令和5年12月15日	秦野市保健福祉センター	1 自立支援用議会における課題への取り組み状況などについて 2 相談支援従事者初任者研修インターバル実習対応の振り返り 3 地域課題等への取り組み状況 4 グループホームに関する課題と圏域グループホーム連絡会 5 共有したいこと、確認したいこと

2 まちかど福祉相談室（秦野市社会福祉協議会主催）

開催日	場所	内容
月1回（8月を除く）	おおねふれあい館	社会福祉協議会、大根地域高齢者支援センターと共に、大根地区の方々への相談支援

3 秦野市成年後見ネットワーク連絡会

1	令和5年5月30日	秦野市保健福祉センター	1 令和4年度秦野市成年後見利用支援センター事業報告について 2 中核機関の取り組み及び課題について 3 令和5年度秦野市成年後見利用支援センター事業計画について 4 金融機関の方のための「福祉相談窓口」活用ガイドについて 5 研修テーマについて 6 権威養護支援検討会議について
2	令和6年1月15日	クアーズテック秦野	1 秦野市成年後見利用支援事業（報酬助成）の改正について 2 研修会の開催及び事前アンケートの実施について 3 その他、情報提供等

4 支援学校等連絡会

1	令和5年7月25日	ばれっと・はだの	1 支援学校高等部3年生の動向 2 教育と福祉のつなぎに関する課題 3 対応が困難や進路選定が困難な生徒とはどのような生徒
2	令和6年1月29日	ばれっと・はだの	1 養護学校高等部3年生の動向 2 教育と福祉のつなぎに関する課題 3 高等部2年生の進路の動向について

5 秦野支援学校との連携

1	令和6年2月13日	秦野支援学校	移行支援会議
2	令和6年2月16日	秦野支援学校	移行支援会議
3	令和6年2月28日	秦野支援学校	移行支援会議
4	令和6年3月4日	あすなろリサイクル作業所	移行支援会議
5	令和6年3月14日	秦野支援学校	移行支援会議

6 平塚支援学校との連携

1	令和5年8月25日	平塚支援学校	職員研修会
2	令和5年11月13日	平塚支援学校	肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会

7 平塚児童相談所

1	令和5年12月11日	平塚児童相談所	施設入所中児童の地域移行にかかる連絡会議
---	------------	---------	----------------------

8 秦野市要保護児童対策協議会

1	令和5年9月1日	鶴巻中学校	個別ケース検討会
2	令和5年8月25日	渋沢小学校	個別ケース検討会
3	令和5年10月31日	渋沢小学校	個別ケース検討会
4	令和6年2月8日	渋沢小学校	個別ケース検討会
5	令和6年3月19日	弘済学園	個別ケース検討会

9 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る協議の場

1	令和5年10月31日	はだのこども館	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについて 活動報告 ワールドカフェで語ろう 「暮らしやすいまちとは」
2	令和6年2月2日	はだのこども館	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについて 活動報告 ワールドカフェで語ろう 「暮らし続けられるまちづくり」

10 弘済学園地域移行支援カンファレンス

1	令和5年9月5日	弘済学園	ケース会議
2	令和6年1月24日	弘済学園	ケース会議

11 民生児童委員

1	令和5年6月6日	東公民館	東民児協学習会講師
2	令和5年6月28日	保健福祉センター	民児協障害部会勉強会講師

12 相談支援事業所等連絡会（対象：相談支援専門員等）

回数	実施日	内容
1	令和5年4月19日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所及び関係機関紹介 今年度の連絡会の取り組みについて 情報交換
2	令和5年5月17日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【グループワーク】 <ul style="list-style-type: none"> 相談支援について
3	令和5年6月16日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【事例検討】 <ul style="list-style-type: none"> 障害福祉サービスと介護保険サービスの併用の事例
4	令和5年8月17日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター多目的ホール	【事例検討】 <ul style="list-style-type: none"> 在宅から施設入所。本人は家に帰りたい事例 ストレングスの活用
5	令和5年9月21日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【事例検討】 <ul style="list-style-type: none"> 利用者からの頻繁な電話対応について 終末期の母と残される障害者のある家族への支援
6	令和5年10月19日 10:00~12:00 本町公民館多目的ホール	【事業所合同事例検討会】 <ul style="list-style-type: none"> 障害のある親と、一緒に暮らす障害のあるこどもの支援
7	令和5年11月28日 14:00~16:00 Web開催	平塚保健福祉事務所秦野センター合同開催 【グループワーク】 <ul style="list-style-type: none"> 処遇困難事例のストレングスを見つけよう
8	令和5年12月22日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【事例検討】 <ul style="list-style-type: none"> 金銭管理に関するアプローチ方法 ひきこもり
9	令和6年2月15日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター多目的ホール	【事例検討】 <ul style="list-style-type: none"> 支給決定に至るプロセス
10	令和6年3月21日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の連絡会の振り返り

1.3 基幹研修会（対象：相談支援専門員、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者等）

回数	開催日	内容
1	令和5年7月19日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター多目的ホール	【テーマ】発達障害の特性理解と支援 【講師】発達障害支援センターかながわA（エース） 飯山慶一 発達パートナーズ秦野支部 椎名智美
2	令和6年1月8日 13:30~16:00 秦野市保健福祉センター多目的ホール	【テーマ】これからの地域作りを語ろう 【講演】相談支援体制と地域作り・どうなる令和6年度 【講師】日本相談支援専門員協会代表 富岡貴生 【座談会】「懇話会が取り組む秦野市の地域作り」～夢を語ろう～ コーディネーター 伊藤 崇博 こども部門長 大永 篤 就労部門長 後藤 克彦 地域共生部門長 北森 史哉 福祉サービス部門長 岡西 博一 相談部門長 小池 憲一

1.4 相談支援従事者研修インターバル研修

1	初任者研修インターバル研修	8事業所 20名
2	現任研修インターバル研修	11事業所 22名

秦野市障害者支援委員会

回数	実施日	内容
1	令和5年5月30日 秦野市役所教育庁舎3階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市障害者支援委員会懇話会部門報告について ・令和4年度主要な委託事業の実施状況について ・令和5年度障害福祉課の重点事業について ・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画について ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について ・日中サービス支援型共同生活援助の新設について
2	令和5年8月24日 はだのクリーンセンター 2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市障害者支援懇話会部門報告について ・障害福祉計画・障害児計画について ・日中一時支援事業業務量調査結果について ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について ・日中サービス支援型共同生活援助に係る実施状況報告について
3	令和5年11月7日 秦野市役所教育庁舎3階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市障害者支援懇話会部門報告について ・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画 について ・第6期障害福祉計画に係るアンケート調査に ついて ・障がい者差別実態把握のためのアンケートについて ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について
4	令和6年3月12日 秦野市役所3A会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画案について ・秦野市障害者支援懇話会部門報告について ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について ・障害者差別に関する当事者及び事業者アンケートについて ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて ・事業所・施設向け研修会について

秦野市障害者支援懇話会

1 総合部門

回数	実施日	内容
1	令和5年5月15日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の活動の進捗状況、検討事項について 秦野市障害者支援委員会への報告事項、検討事項について
2	令和5年8月10日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の活動の進捗状況、検討事項について 秦野市障害者支援委員会への報告事項、検討事項について
3	令和5年10月24日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の活動の進捗状況、検討事項について 秦野市障害者支援委員会への報告事項、検討事項について
4	令和6年2月20日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の活動の進捗状況、検討事項について 秦野市障害者支援委員会への報告事項、検討事項について

2 相談部門

回数	実施日	内容
1	令和5年4月10日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活支援拠点に関して 相談支援事業所新規立ち上げ事業所の状況 令和5年度相談支援事業所等連絡会のすずめ方について 基幹相談支援センターの役割、認識の統一について
2	令和5年6月5日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターの役割、認識の統一について 医療保護入院の見直しに関すること 事例検討「重度障害者の地域生活支援について」
3	令和5年8月14日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターの役割、認識の統一について 事例検討「支援困難なセルフプラン利用者について」 秦野市相談支援体制について
4	令和5年10月16日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターの役割、認識の統一について 相談支援事業所等連絡会（合同開催）の事例について 秦野市相談支援体制について
5	令和5年12月11日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターの役割、認識の統一について 基幹相談支援センター研修会について 事例検討「生きがいを失った単身生活の事例について」 秦野市相談支援体制について
6	令和6年2月19日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターの役割、認識の統一について 今年度の振り返り 障害児の計画相談について 事例検討「親の疾病により家族がバラバラになった事例」 次年度に向けて

(4) 指定特定相談支援事業（計画相談）

ア) 相談内容

福祉サービスを利用するために必要な、サービス等利用計画、モニタリング報告書（継続サービス利用支援）を作成するため、来所相談や事業所訪問等により、本人状況の把握に努め、適切なサービスに繋げました。

【事由】

福祉サービスの利用	1412
社会資源の活用	52
社会生活力	807
権利擁護	33
専門機関紹介	34
その他	326
計	2664

毎月モニタリングをしている方は6名
その内、横浜市や相模原市のグループホームを利用している方が含まれていません。福祉サービスの他、医療の訪問看護、訪問マッサージ等を組み合わせた生活を支援しています。

相談者の同意を頂き、生活が安定してきた相談者は、市内の相談支援事業所等へ引き継ぎ、展開しました。

市外のサービスを利用する方のモニタリングに時間を費やしています。

新規の相談者については、障害福祉課と連携をとりながら進めました。

【詳細】

福祉サービスの利用	405
情報交換	354
日常生活	249
就労	57
住居	17
教育・発達	0
健康・医療	230
家族・人間関係	163
家計・金銭	73
精神的不安	183
ひきこもり	1
障害の理解・病状	7
療育・教育	4
社会参加・余暇活動	10
地域移行・地域定着	0
権利擁護・虐待	9
連絡調整	448
モニタリング	226
モニタリング報告	126
その他	102
計	2664

イ) 事例

- ・ 障害児施設の移行支援から関り、市外の日中サービス支援型グループホームに入居サービス管理責任者と連携し、日中活動のサービスにつなげる。
- ・ 浪費家。精神状況も安定せず、部屋も雑多な状況。居宅介護や就労支援と連携して生活を支えている。
- ・ 要保護児童対策地域協議会の対象者。
- ・ 実刑があり、保護観察付執行猶予中の方。
- ・ 本人は落ち着いた生活ができているが、親に寄り添う支援が必要な方。

(5) 権利保障実践チーム

ア) 件数

相談：1件

イ) 内容

詐欺による借金を抱えてしまった。自己破産をしたいが収入が途絶えてしまい手続きが進まない。

コロナ禍の影響も受けつつ、事業展開が広がらないことは継続的な課題となっています。相談支援専門員が集う会合等で更なる周知を継続して実施していきます。

(6) 障害支援区分認定調査

調査員の分担については、秦野市が年度当初に一括して相談支援事業所等へ依頼をしており、調査員の派遣による認定調査を実施しました。

市からの依頼数は97件、うち92件実施しました。内訳は新規41件、更新51件でした。また、キャンセル数の内訳は新規2件、更新3件でした。

(7) 地域生活拠点整備

地域生活拠点としての一機能である「緊急時の受入れ・対応」に関しては、当事者団体や相談支援事業所等連絡会により周知をすすめ、令和6年3月31日現在、37名が登録済みです。一昨年度登録された方に対して実績として1件事案が発生し、以前に利用したグループホームの利用調整をしました。

これからの地域生活に必要な市内グループホームの運営状況(入居状況・家賃・設備・特徴・人員配置や資格・支援等)についてアンケート実施し、集約した資料を作成しました。

令和6年度は、障害者支援懇話会福祉サービス部門にオブザーバーとして参画し、緊急時の受入れ方法等、部門で課題検討するとともに、引き続き市内グループホームの運営状況を集約します。

【 地域活動支援センター事業 】

《事業概要》

地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、それぞれの利用者の意向や生活スタイルに合わせ、地域活動支援事業の特性を活かしたさまざまな機会（フリースペースにおける余暇支援、創作的プログラム活動、就労支援班との連携による就労状況の把握や就労関連の情報共有および地活職員による面談等のフォロー）を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な相談支援を適切かつ効果的に行うよう努めました。

さらに保健・医療・福祉・教育（高校・大学）との連携や同じ悩みや症状などを抱えている当事者同士であるピアサポーターの育成及び障害に対する理解を促す普及啓発等地域活動支援について多岐にわたり取り組みました。

1 フリースペース運営

秦野市在住の精神障害の方を対象とした「居場所の提供」

《運営体制》

(1) 利用対象

秦野市に住民票のある精神障害者、センターの利用を市が認めたもの

(2) 実施日時

月曜日～土曜日（祝祭日、年末年始を除く） 13時～17時30分

月曜日はオープンスクエアという利用者主体の運営

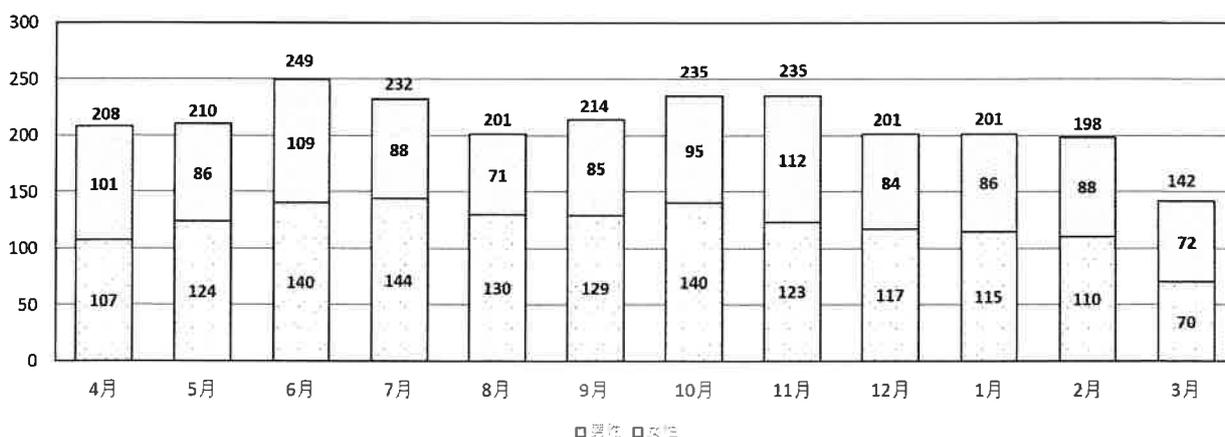
《事業実績》

(1) 開所日数 289日

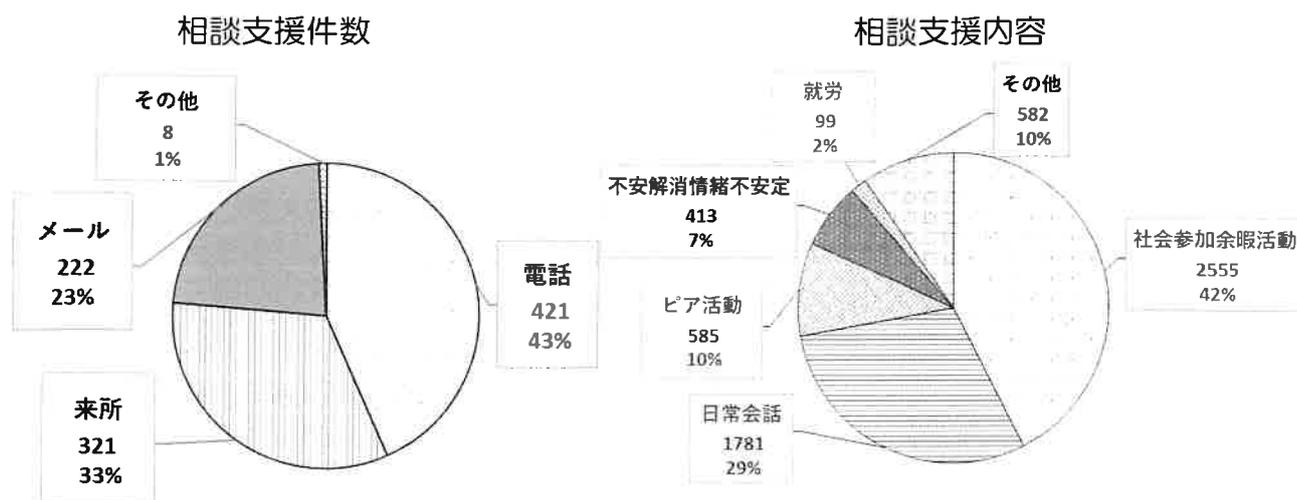
(2) 登録者人数 98名（男性48名、女性50名）

(3) フリースペース利用延べ人数 2,526名（月平均利用者延べ人数約210名）

月別フリースペースの延べ人数



(4) フリースペース利用者の相談件数及び相談内容



2 ピアサポート活動支援事業 ※ピア=仲間、精神障害当事者のこと
 ピアである強みを活かした活躍の場を提供、紹介。
 ピアの自己実現をサポートする活動。

(1) ピア相談会（毎月第3火曜日定期開催）

《実施回数：12回》

- ・ピアサポーターが地域の精神障害者の困りごと等の相談に対応。
 （個別相談、座談会）

(2) ピアのつどい（毎月第1木曜日開催）

《実施回数：15回》

- ・学習会修了者対象。ピア活動の連絡調整や事前準備、活動の振り返り等を通して、エンパワメントの維持向上を図る。主に、相談会及び普及啓発事業での活動についてピアサポーター同士で振り返りや意見交換等を実施。

(3) ピア学習会（令和5年9月～令和6年2月）

《実施回数：6回》

- ・専門職の講義、ピア体験発表等。
- ・新規ピアサポーター養成及び、現任ピアサポーターフォローアップ研修。

(4) ピア活動普及啓発及び地域交流

《実施回数：23回》

- ・ピア活動及び、精神障害者への理解を図るために地域住民、学校、精神科病院等との交流事業を実施。
- ・ボイスピアはだの（当事者・家族による体験発表、交流会）
- ・学校の福祉教育授業等
 （曾屋高・秦野総合高・東京医科歯科大・国際医療福祉大・県立保健福祉大）

- ・ふらっとピア交流会（ボイスピア参加者との交流）
- ・民生委員・児童委員協議会障害部会での体験発表
- ・障害者支援懇話会地域共生部門当事者連絡会への参加
- ・じんかれん県民のつどい
- ・他地区ピアサポーターとの交流
- ・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を検討する協議会への参加（開催2回ワールドカフェ方式）
- ・地域精神保健福祉連絡協議会（web）への参加
- ・神奈川県精神障害者地域移行・地域定着支援事業（ピアサポーター養成事業）への協力
- ・フリースペース利用者との交流会（サロンdeおしゃべり等）

（5）ピアサポーターへの支援

登録ピアサポーターが病気や障害と向き合い、折り合いをつけながら、ピアとしての活動を継続できるように一緒に考え、体調に配慮しながら活動を調整するなど客観的な見守り支援を行う。主体はピアサポーターであることを意識した支援を実施。

3 広報活動

（1）広報紙ぱれっと・はだのミニ（毎月発行）

《広報紙発行テーマ》

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 4月：グループホーム紹介 | 5月：蓄音機コンサート |
| 6月：ミュージックベル | 7月：セルフケア「いい自分って」 |
| 8月：ボイスピアはだの | 9月：セルフケア「調子の悪い時のサインって」 |
| 10月：アイアンアート | 11月：セルフケア「睡眠」 |
| 12月：クリスマスコンサート | 1月：セルフケア「自分にとってのストレスって」 |
| 2月：プログラム振り返り | 3月：プログラム振り返り |

（2）ぱれっと・はだのプログラム予定表（毎月発行）

（3）YOUとピア通信（不定期） 「ピア」＝「仲間」

「ピア」とは同じ悩みをもった者同士の対等な支え合いの総称。

あなた（YOU）とピアを結ぶ新聞であるという意味を込めてピアサポーターが発案。

（4）ホームページ・SNS等

フリースペース、プログラム、ピア活動支援等紹介。

4 プログラムの開催

秦野市在住の精神障害者を対象にあらゆるニーズに応えるプログラムを実施

	フリースペースプログラム	ピアサポート活動支援
4月	清見オレンジ狩り チューリップを見に行こう 蓑毛で森林セラピー 健康相談会（毎月実施） サロンdeおしゃべり（毎月実施） たまり場 for youth（毎月実施）	東京医科歯科大学
5月	花菜ガーデン ボクササイズ 折り紙ワークショップ	
6月	蓄音器コンサート ☆ ハーバリウムワークショップ 園芸活動 セルフケアの部屋（6月より毎月実施）	当事者連絡会
7月	ミュージックベルコンサート ☆ 戸川公園に行こう	
8月	ブルーベリー狩り 園芸活動	他地区ピア普及啓発事業への参加
9月	折り紙ワークショップ ギターと歌おう	ボイスピアはだの、交流会 曾屋高校 ピア学習会（2月まで全6回）
10月	アイアンアート&やきそば 秋を探して	当事者連絡会 ワールドカフェ
11月	森林セラピー お薬手帳着せ替えワークショップ 園芸活動	秦野総合高校 曾屋高インタビュー 県民のつどい
12月	みかん狩り ドリームコンサート ☆ 園芸活動	曾屋高 研究発表会
1月	震生湖へ行こう 折り紙ワークショップ	当事者連絡会
2月	春を探して	ワールドカフェ 他地区ピアとの交流
3月		女性だけの井戸端会議

☆ フリースペース登録者以外の秦野市民も対象にしたイベント

【就労支援事業】

就労相談者は電話ではなく、直接来訪される方や企業やサービス事業所を見学される方が多くなりました。また、就労相談内容については、定着支援や生活面に関する相談が、特に多くなっており、相談内容全体では、2年前に比べて内容件数が1.5倍も増加しています。就労先においても、就労継続支援A型事業所や就労継続支援B型事業所を利用される人が、延べ人数で100名を突破し、一般就労をされた人も今年度だけで34名と前年度に比べて2倍に増加しています。一方で、離職した人が、支援学校卒業生で5名、一般で8名と例年に比べ多かった。

昨年に引き続き8月に実施された福祉事業所合同説明会では、昨年の反省点を踏まえ、総合案内のブースなどを新たに設けたため、見学する施設を決める参考になり、アンケート結果より好評との意見が多くありました。入場者は、昨年を上回り68名でした。午後からは、新たな試みとして、障害福祉事業所に興味や就職を考えている方を対象に合同就職相談会を行い、5つの事業所が参加し、3名の方が相談に訪れました。

農業と福祉の連携、中でも障害者の就労先や請負作業としての農業従事を探る、いわゆる「農福連携事業」では、県からの支援を受けた秦野市社会福祉協議会の取り組みに協力し、各福祉事業所等との調整に努めました。

就労相談について（3年間の推移）

	電話	来訪	訪問	計
令和3年度	1,088	552	283	1,923
令和4年度	1,755	535	254	2,544
令和5年度	1,650	594	294	2,538

就労相談内容について（3年間の推移）

	福祉サービス	就労場探し	定着支援	生活面	関係機関	その他	計
令和3年度	290	476	569	734	467	136	2,672
令和4年度	593	770	899	1,056	480	177	3,975
令和5年度	550	608	948	1,082	606	196	3,990

令和5年度における障害種別就労登録者数

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	合計
人数	5	32	40	77

令和6年3月末現在の利用者数

利用内容	～令和5年延べ	令和5年度
登録後 福祉サービス就労継続支援A型	24	4
登録後 福祉サービス就労継続支援B型	83	14
登録後 福祉サービス就労移行支援	7	1
登録後 一般就労（支援学校卒業生101名含む）	183	27
登録後 求職中	172	33
登録者総数（身体40名+知的212名+精神217名）	469	79
相談のみ（登録なし）	64	10

一般企業への就労した方々の職業別人数（3年間の推移）

業種名	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
管理職			
専門的技術的職業			
事務職	20	22	21
販売	17	17	22
福祉・介護			2
サービス業	16	17	20
保安業			1
農林漁業	3	5	5
生産工程	12	20	30
輸送・機械運転	0	0	4
建設・採掘			
運搬・清掃包装	70	72	75
合計	138	153	180

令和5年度内に就労した企業名

(株)新弘	ティスベンバックジャパン南足柄	ハーベスト
アンリツ	神奈川県教育委員会	(株)ロピア
イオン秦野店	あらかわ病院	厚木土木事務所
アイン薬局伊勢原店	トオカツフーズ	秦野市役所
クリエイト	(株)ペットゴー	東海大学
はーとふる農園愛川	(株)トーブラ	海老名総合病院

支援学校卒業生が就労した企業

ウエルハーツ小田急	クリエイトビギン	ロジスティード東日本
ティラド秦野製作所	青葉台郵便局	タカキベーカリー秦野
新日本ウエックス伊勢原工場	クリエイトビギン	花物語はだの南
サポートオフィス	ヨークフーズ秦野緑町店	ガスト秦野平沢店
リンレイ秦野工場		

*この分類は、厚生労働省編職業分類による職業別です。

【ともしびショップ「ゆめ散歩」事業報告】

1 委託事業等

- (1) さかえちょう公園休養施設清掃等 [期間 R5年4月1日~R6年3月31日]
- (2) 秦野市本庁舎等庭園管理業務
 - ・フラワーポット (本庁舎・分庁舎・西庁舎) 13個 (弘済学園)
 - ・本庁舎正門花壇及びモニュメント花壇の植替え、草花の管理 (弘済学園)
- (3) 戸川公園花壇植え込み業務 (神奈川県)
 - 夏: くず葉学園 秋: 弘済学園
- (4) NEXCO 中日本東名周辺及び高架下草刈業務
 - 夏: かがやき 1か所 秋: かがやき 1か所
- (5) 秦野市の行事記念品作製等業務
 - 社会福祉大会 (10月29日) 586個
- (6) 秦野斎場庭園等管理業務
 - ・フラワーポット 7個 (弘済学園)
 - ・観葉植物リース 3鉢 (くず葉学園)
 - ・作品 (絵画) 展示 (ぱれっと・はだの)
 - ・自主製品展示販売 (秦野ワークセンター)
- (7) 秦野市カルチャーパークプール内自販機販売 実施日: 7月1日~9月6日
自動販売機のみにて対応
- (8) 秦野病院敷地内草刈り業務 (新規) (くず葉学園)

2 各事業所自主製品の販売促進事業

- (1) 秦野市市営鶴巻温泉「弘法の里湯」内の売店「やまなみ」
 - [出品事業所] 大根工芸・くず葉学園・秦野ワークセンター・鶴巻工芸
いんくるネット
- (2) 「イオンの日」展示即売会 実施日: 毎月11日 ※例月啓発事業
 - [出品事業所] 秦野精華園・弘済学園・ちっちな星の会・くず葉学園・
松下園・いんくるネット・秦野ワークセンター・鶴巻工芸・
みんなの広場ⅠⅡ・ファミリー生活介護・ゆめ散歩
- (3) 戸川公園チューリップフェア (再開) 実施日: 4月1日・2日
 - [出品事業所] ちっちな星の会・秦野ワークセンター・にこにこパン工房・
弘済学園・ゆめ散歩
- (4) TOKAI グローカルフェスタ 2023 (新規) 実施日: 10月14日 ゆめ散歩
- (5) 戸川公園まつり (再開) 実施日: 10月21日 ちっちな星の会・ゆめ散歩
- (6) 本町公民館まつり (新規) 実施日: 2月11日 (イオンの日と併せて参加)
 - [出品事業所] 弘済学園・くず葉学園・みんなの広場・いんくるネット・
ゆめ散歩・ハッピーラボ (キッチンカー)
- (7) ポイントカード 年間使用枚数 30枚 (1,500円相当)

3 自動販売機管理事業

[実施事業所]

うぐいすの家 秦野市総合体育館（2台）
かがやき 秦野市おおね公園（2台）
当法人 公民館（西、渋沢）（2台）・ぱれっと（2台）
秦野市役所（3台）・さかえちょう公園施設（1台）

4 さかえちょう公園・ゆめ散歩における各種イベント

(1) セタまつり 7月6日～9日 飾り付け参加事業所 13事業所

[出展事業所] あすなろ会・秦野精華園・みのりの家・うぐいすの家・
ハッピーラボ・秦野ワークセンター・鶴巻工芸・大根工芸・
かがやき・みんなの広場ⅠⅡ・ファミリー生活介護・
ちっちゃな星の会

(2) さかえちょう公園イルミネーションフェスティバル 12月4日～25日

[出展事業所] うぐいすの家・あけぼの・かがやき・くす葉学園・鶴巻工芸・
ちっちゃな星の会・松下園・秦野ワークセンター

5 ともしびショップ ゆめ散歩内就労

(1) 就労体験（関係事業所） 11名（内訳 精神 8名、知的 3名）
(2) 就労体験（一般） 2名（内訳 精神 1名、知的 1名）
(3) 支援学校アセスメント 6名（内訳 秦野 6名）
(4) 直Bアセスメント 3名（内訳 精神 2名、知的 1名）

6 就労実績

(1) 清掃 2名（精神）
(2) 製造 1名（精神）
(3) 福祉 1名（精神）

7 その他活動

(1) 東日本大震災支援活動（3月11日）イオン販売
宮城県女川町障害者就労支援施設「きらら女川」製造のあげまんじゅうと
「南三陸町産 生わかめ」を販売
(2) 受注活動 「QQ 防災クラブ」蓄光テープ等の型抜き及び袋詰め
「(株)にしきや」マスコット作製等の斡旋、受注（新規）

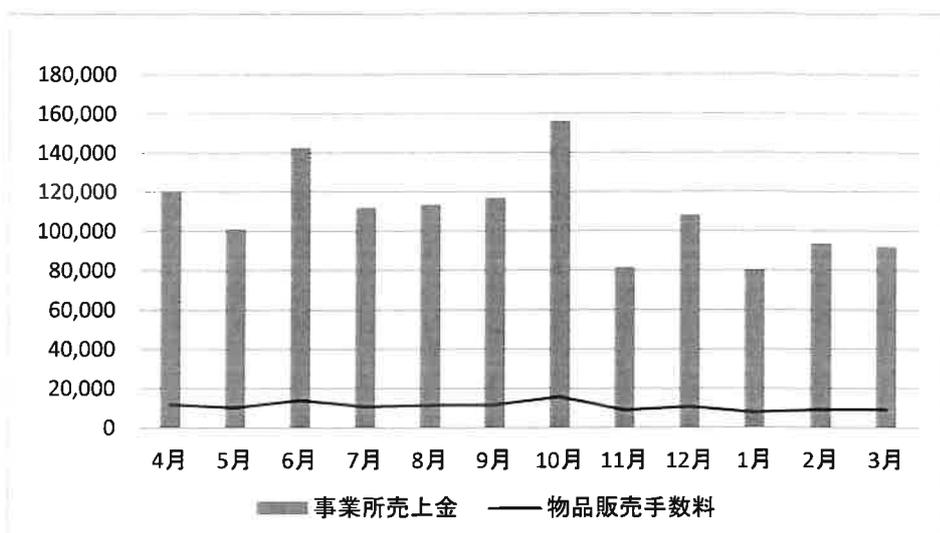
8 会議等

(1) ケース会議 1回/2週間
(2) スタッフ会議 1回/月
(3) 事業所職員研修会 令和6年2月10日（保健福祉センター）

令和5年度ゆめ散歩売上状況

月別売り上げ 単位：円

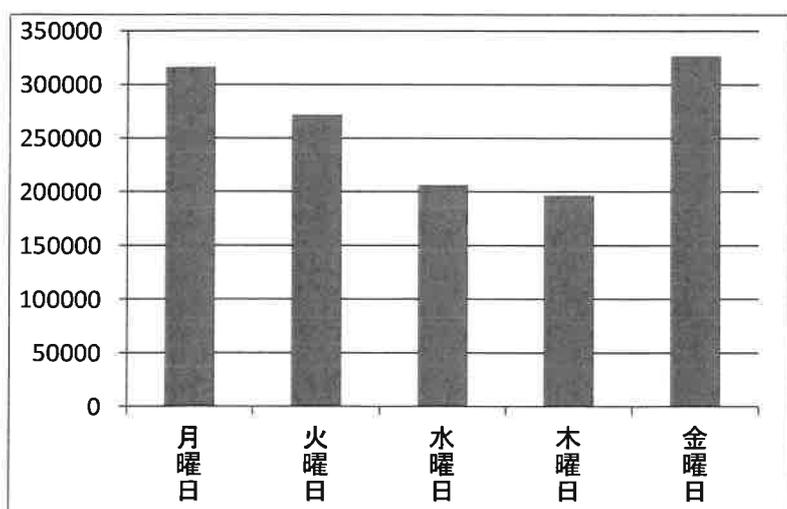
	事業所売上金	物品販売手数料
4月	120,410	11,899
5月	101,190	10,271
6月	142,555	13,891
7月	112,035	10,763
8月	113,620	11,508
9月	116,860	11,686
10月	156,115	15,788
11月	81,535	8,896
12月	108,195	10,878
1月	79,975	7,839
2月	93,860	9,215
3月	92,180	9,088
計	1,318,530	131,722



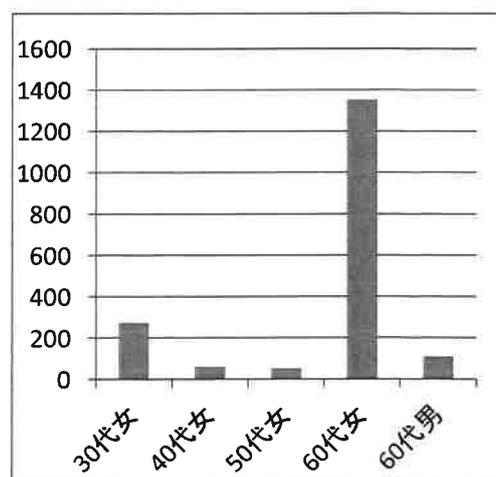
月別商品売上順位

月	1位	2位	3位	4位	5位
4月	雑貨	焼き菓子	野菜	手芸品	布雑貨
5月	野菜	焼き菓子	秦野の水	加工食品	パン・椎茸
6月	野菜	焼き菓子	手芸品	布雑貨	秦野の水
7月	野菜	焼き菓子	秦野の水	布雑貨	豆腐
8月	野菜	焼き菓子	手芸品	クラフト雑貨	秦野の水・加工食品・布雑貨
9月	焼き菓子	野菜	手芸品	パン	秦野の水
10月	焼き菓子	野菜	秦野の水	椎茸・布雑貨	豆腐
11月	野菜	焼き菓子	布雑貨	秦野の水	餃子
12月	野菜	焼き菓子	秦野の水	パン	布雑貨
1月	野菜	焼き菓子	パン	餃子	布雑貨
2月	焼き菓子	野菜	加工食品	秦野の水	パン・椎茸
3月	焼き菓子	野菜	布雑貨	パン	豆腐

曜日別売上表



年代別来客数



< 一般会計 >

		補正予算(A)	決算(B)	差額(B)-(A)	摘 要
① 総務					
収 入	繰り越し金	4,339,011	4,339,011	0	
	市運営費補助	13,874,000	13,874,000	0	
	会費	618,000	618,000	0	正会員18・賛助会員11
	NPO法人負担金	1,800,000	1,800,000	0	事務取扱経費等
	雑入	1,420,000	807,010	△ 612,990	区分認定調査含む
	自主事業繰り入れ金	4,023,000	4,856,916	833,916	相談自主事業収入より
合計		26,074,011	26,294,937	220,926	
支 出	事務用消耗品購入費	700,000	634,227	△ 65,773	除菌用品含む
	車両維持管理経費	900,000	824,491	△ 75,509	燃料費、保険料等
	建物等維持管理費	7,500,000	6,498,333	△ 1,001,667	保守点検光熱費等(老朽化修繕含む)
	借入金返済(建設事業借入)	1,900,000	1,881,784	△ 18,216	
	報酬費	6,900,000	6,900,000	0	
	理事等活動経費	780,000	780,000	0	
	理事会経費	80,000	90,000	10,000	
	労務・会計管理費	700,000	659,100	△ 40,900	
	NPO法人業務協力金	1,400,000	1,400,000	0	業務への協力金
	販売受託へ繰り出し 予備費	4,092,000 1,122,011	4,068,695 0	△ 23,305 △ 1,122,011	
合計		26,074,011	23,736,630	△ 2,337,381	
収支差額		0	2,558,307	2,558,307	

		補正予算(A)	決算(B)	差額(B)-(A)	摘 要
② 相談支援					
収入	市相談支援委託料	24,333,000	24,333,000	0	計画相談、区分認定、講師謝礼
	相談自主事業収入他	4,900,000	5,315,620	415,620	
合計		29,233,000	29,648,620	415,620	
支出	人件費(相談員5名・総務2名)	24,700,000	23,858,120	△ 841,880	緊急時対応・研修等を含む ソフト・メンテナンスを含む 総務へ
	相談事業諸費	100,000	377,934	277,934	
	パソコン備品等	410,000	555,650	145,650	
	自主事業繰り出し金	4,023,000	4,856,916	833,916	
合計		29,233,000	29,648,620	415,620	
収支差額		0	0	0	

		補正予算(A)	決算(B)	差額(B)-(A)	摘 要
③ 地域活動					
収入	市地活運営委託	11,900,000	11,860,200	△ 39,800	基本事業分
	地域活動収入	80,000	138,400	58,400	利用者一部負担、ピア活動加算等
合計		11,980,000	11,998,600	18,600	
支出	人件費(相談員4名)	11,500,000	11,603,064	103,064	ピア活動費含む
	地域活動雑費	480,000	395,536	△ 84,464	
合計		11,980,000	11,998,600	18,600	
収支差額		0	0	0	

		補正予算(A)	決算(B)	差額(B)-(A)	摘 要
④ 就労支援					
収入	市就労等支援事業委託	15,096,000	15,096,000	0	保険料負担金・農福事業等
	就労支援事業雑収入	304,000	204,000	△ 100,000	
合計		15,400,000	15,300,000	△ 100,000	
支出	人件費(支援員5名)	12,700,000	12,935,548	235,548	旅費・交通費・保険 研修旅費等を含む
	ま木就労支援員等助成	2,000,000	2,000,000	0	
	就労支援事業諸費	200,000	157,197	△ 42,803	
	普及啓発・研修会経費	500,000	207,255	△ 292,745	
合計		15,400,000	15,300,000	△ 100,000	
収支差額		0	0	0	

		補正予算(A)	決算(B)	差額(B)-(A)	摘要
⑤ 販売・受託（共同受注等）					
収入	ゆめ散歩売上	1,000,000	179,092	△ 820,908	管理方法見直し
	事業収入(共同受注・自販機)	3,000,000	4,347,879	1,347,879	東名草刈り等
	公園管理受託	308,000	385,000	77,000	さかえちよう公園
	にじ散歩売上	6,500,000	6,312,420	△ 187,580	
	総務より繰り入れ	4,092,000	4,068,695	△ 23,305	
合計		14,900,000	15,293,086	393,086	
支出	ゆめ散歩仕入	30,000	24,720	△ 5,280	
	ゆめ散歩利用者賃金	100,000	132,128	32,128	
	共同受注・自販機管理	2,750,000	2,852,745	102,745	
	自販機電気料	420,000	501,009	81,009	
	にじ散歩仕入	3,600,000	3,381,407	△ 218,593	
	人件費(支援員1名・にじ散歩)	6,500,000	6,249,354	△ 250,646	
	ゆめ散歩・にじ散歩雑支出	1,500,000	2,151,723	651,723	店舗維持運営経費
合計		14,900,000	15,293,086	393,086	
収支差額		0	0	0	

※参考

	令和5年度予算	令和5年度決算
一般会計総収入(特別会計を除く)	97,587,011	98,535,243
一般会計総支出(同上)	97,587,011	95,976,936
差額	0	2,558,307

< 特別会計 >

※基金の動き

⑥ 地域生活支援基金	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	※令和5年度末
増 減	595	236	184	116
累 計	7,004,663	7,004,899	7,005,083	7,005,199

令和6年3月31日

上記のとおり報告します

理事長

藤 林 和 静 

事務局長

越 光 森 茂 

令和5年度会計監査結果報告書

一般社団法人秦野市障害者地域生活支援推進機構

令和5年度収支決算について、証拠書類と貸借対照表など諸帳簿について監査したところ、正しく処理されており、すべて適正であった事を証明します。

令和6年5月16日

監事 宮本 英子  印

監事 渡邊 孝広  印